

写

教 企 第 70 号
令和 5 年 2 月 1 日

宮城県教育振興審議会会長 殿

宮城県知事 村 井 嘉 浩



宮 城 県 教 育 委 員 会



第 2 期宮城県教育振興基本計画の中間見直しについて（諮問）

このことについて、教育振興審議会条例（平成 20 年宮城県条例第 3 号）第 1 条の
規定により、別紙理由書を添えて諮問します。

(別紙)

理 由 書

本県では、教育の振興に関する施策の総合的かつ体系的な推進を図るため、平成29年3月に「第2期宮城県教育振興基本計画」を策定し、本県教育の柱である「志教育」の推進をはじめとする様々な施策に取り組んでいます。

近年、大規模自然災害の頻発や新型コロナウイルス感染症の蔓延に代表されるように、今後の先行きが不透明な予測困難な社会の中で、子供たちの未来を切り拓く力の育成が求められています。また、誰もが生きがいを持って暮らすことができる地域社会の構築に向け、他者の多様性を尊重しながら、互いに高め合うことのできる環境づくりが必要になっています。

このような中、教育を巡る状況についても大きく変化しており、新学習指導要領の実施に伴う「主体的・対話的で深い学び」の実現や、教育機会確保法に基づく個々の不登校児童生徒の状況に応じた支援の実施、教育DXの推進等への対応が求められているとともに、多様で複雑化する教育ニーズに答えていくことが重要な課題となっています。

そのため、計画期間中に生じた様々な状況の変化に対応しながら、本県の課題である学力、体力・運動能力の向上、不登校児童生徒への支援の取組について充実・強化を図るなど、本県における教育施策の方向性等を整理する必要があるものと考えています。

このようなことから、「第2期宮城県教育振興基本計画」の中間見直しについて、諮問するものです。